



Hybrid Data Security の既知の問題

- (Cisco Webex Control Hub でクラスタを削除するか、すべてのノードをシャットダウンして) Hybrid Data Security クラスタをシャットダウンした場合、構成 ISO ファイルが失われた場合、またはキーストアデータベースにアクセスできなくなった場合、Cisco Webex Teams ユーザは、KMS でキーを使用して作成された [ユーザ (People)] リストに含まれるスペースを使用できなくなります。このことは、トライアルと実稼働の両方の導入環境に当てはまります。現時点では、この問題の回避策や修正方法はありません。アクティブなユーザアカウントを処理した後に HDS サービスをシャットダウンしないようにしてください。
- KMS にすでに ECDH 接続しているクライアントは、一定期間（通常は 1 時間）その接続を維持します。ユーザが Hybrid Data Security トライアルのメンバーになった後も、そのユーザのクライアントはタイムアウトになるまで既存の ECDH 接続を引き続き使用します。または、ユーザは Cisco Webex Teams アプリからサインアウトしてから再びサインインすることで、場所を更新し、アプリが暗号キーを照会できるようにすることもできます。

同じ動作は、トライアルを組織の実稼働環境に移行する際にも発生します。以前のデータセキュリティサービスにすでに ECDH 接続しているすべての非トライアルユーザは、（タイムアウトにより、またはサインアウトして再びサインインして）ECDH 接続が再ネゴシエートされるまで、これらのサービスを引き続き使用します。

